

## 経営者への活きた言葉

### 日本人の原点「袋ふくろ背負せおいの心」 栗山 要(ジャーナリスト)

1. 日本最古の書物として広く知られている「古事記」。しかしその本質は、単なる神話、お伽噺の範疇に収まるものではなく、日本人の心の原点を指し示してくれる貴重な書物です。そしてそこに記されている本質を理解することによって、転機を迎えた私たち日本人はこれから進んでいくべき道を見出すことができると信じています。
2. ここに私が生涯の宝として大切に保管している書があります。  
キリハナツ ヤマタオ ロチ フクロヲシヨイトモビトトナイテイケン  
 「切離 八俣遠呂智 負袋為 従者率往」。  
 意識すれば、「八俣遠呂智(八岐大蛇)のような生き方を遠ざけ、袋を背負い、従者となり、人生を歩いていこう」となります。  
 これは私に「古事記」の本質を説いて下さった恩師阿部國治先生の信条を示す言葉です。
3. 東京帝国大学法学部を首席で卒業され、将来を約束されていた阿部先生は、  
オオクニシノミコト  
 「八俣遠呂智のような権力者の生き方と決別して大國主命のよいに、人々の苦勞が詰まっている袋を背負って、世の中の下積みになるような仕事をしていこう」と決意されたのです。  
 この「袋背負いの心」こそが「古事記」が我々に説き示してくれている本質であり、日本人の原点、大和心の神髓なのです。

(参考:「致知」2012年5月号)

## 街の活性化策

### 田舎で起業ラッシュ

1. 四国の片田舎が企業誘致に沸いている、徳島県神山町。徳島市から西に車で50分ほどのところにある山間の小さな町だ。地元のNPO法人グリーンバレーが空家再生を始めたのは2008年6月のこと。その後、Iターン者の受け入れを進める中で、サテライトオフィスを構える企業が増え始めた。人口も6500人の町に東京の企業が相次いでオフィスを構えるのはそうそうない。
2. クラウド名刺管理サービスの三三が2010年10月に古民家を借りたのを皮切りに、ITサービスのダンクソフトやコールセンター運営のテレコメディアなど6社に増えつつある。3月から神山町で一人暮らし老人の見守りサービスを始めるテレコメディアは活動拠点として、ソノリテはコールセンターとして、ベルシオンやローカルアクションは本社として活用を視野に入れる。神山町へのベンチャー企業の進出が相次いでいるのは、都会と異なる環境に価値を見出しているためだ。

(参考:「日経ビジネス」2012年2月20日号)